参考：〇〇市町村版　架け橋期のカリキュラム（例）

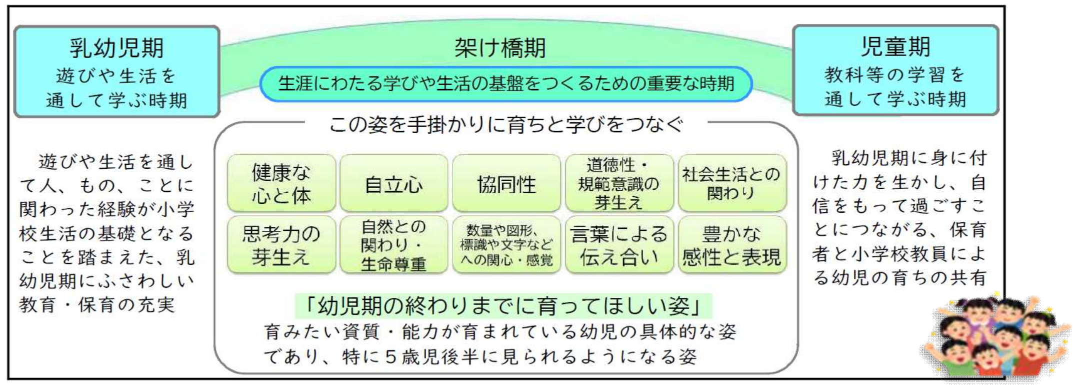
★①②③④は市町村の開発会議で決める
★⑤⑥⑦⑧⑨は小学校区の合同会議等で決める

★印は作成の際の留意点
※小学校は義務教育学校を含む

① ★地域で大切にしたい育ちをつなぐスローガン等を記載する（記載の要不要についてはそれぞれの市町村で決める）

例：育ちと学びを未来につなぐ　地域の子どもをともに見つめ　ともに育てる
～つながる子どもの育ちと学び～

育みたい資質・能力	
育みたい資質・能力	「知識及び技能の基礎」 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。
	「思考力・判断力・表現力の基礎」 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。
	「学びに向かう力・人間性等」 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。



市町村の期待する子ども像	② ★市町村の開発会議において見えてきた地域の子どもの実態、よさや課題について協議したことを踏まえ、期待する具体的な子ども像を記入する
〇〇学区の期待する子ども像	⑤ ★②を踏まえつつ、小学校区の合同会議において、共通する子どものよさや課題について協議し、期待する具体的な子ども像を記入する

★③④の共通の視点とする各項目は市町村における開発会議等で協議した上で決める

下記は共通の視点として考えられる項目例	5歳児　★園と小学校の実態に応じた区切りを設定する（期・学期等）　小学校１年生
月・期・学期	5歳児：4　5　6　7　8　9　10　11　12　1　2　3／小学校１年生：4　5　6　7　8　9　10　11　12　1　2　3
③ ねらい	⑥ ★⑤に迫るための双方の具体的なねらいを設定する
③ ★国で示す３つの柱、または市町村で特に大事にしたい具体的な資質・能力を記入 育みたい資質・能力： 知識及び技能の基礎 思考力・判断力・表現力の基礎 学びに向かう力・人間性等	⑦ ★⑥の具現化に向け、小学校区の合同会議等において、園と小学校双方の職員が対話を通じて具体的に協議する ★③の共通の視点項目とリンクさせて目指す具体的な子どもの姿を記入する <就学前は方向目標としての姿> ・遊びや学びのプロセスから ・園で展開される活動から <小学校は到達目標としての姿> ・生活科を中心とした合科的・関連的な活動から ・各教科の弾力的な時間割の設定の工夫から ・園や小学校での生活、学級経営で大事にしたいことの考慮から　等 ★幼児期の学びの特性を踏まえると、記入の際、一体的に育まれる３つの資質・能力をはっきりと分けることの難しさがあるため、横線で区切らずに該当するいくつかの資質・能力に位置付けて記入することも想定される
③ 援助、指導上の配慮事項	⑧ ★⑦の資質・能力を育むため、教職員等の関わりや環境づくりを行う上で、何を大事にどのように工夫していけばよいのか具体的に記入する <幼児教育において> ・「園児の実態や育ってほしい方向性を踏まえ、意図的・計画的に構成された教育的及び保育的に『意味のある環境』」の視点で記入する <小学校教育において> ・幼児期の学びと育ちを前提として、児童が安心して小学校生活を送り、自らの力を発揮しながら主体的な学習者として育っていく過程を創り出す視点で記入する
④ ★必要があれば項目を追加 ③の他「期待する子ども像」を目指すために必要な項目を市町村で協議し決める ・子どもの交流 ・家庭や地域との連携 ・職員のつながり　等	⑨ ★④を追加の場合は⑤「期待する子ども像」及び⑥「ねらい」に関わる内容について記入する ・具体的な活動や体験、行事等について記入する ・家庭との連携の在り方、地域との関わり方や連携の在り方について記入する ・子どもの交流や相互参観・協議への参加等、組織的な連携活動の具体的な活動を記入する ・幼保小で共通する内容をまとめて記入する 例）　５月　幼保小連携協議会　　８月　相互職場体験　　等

★本フォーマットはあくまで参考資料です。各市町村で作成する際に、参照または活用ください。